

## 選挙結果 10人中7人が当選!

3月				
推薦	長野県上田市議選	石合ゆうた	新人	落選
4月				
推薦	北海道士別市議選	国忠たかし	現職	当選
推薦	鳥取県鳥取市議補選	井上さとる	新人	落選
推薦	埼玉県久喜市議選	猪股 和雄	現職	当選
推薦	埼玉県秩父市議選	清野 和彦	新人	当選
応援	埼玉県春日部市議選	古澤 耕作	新人	当選
6月				
推薦	東京都立川市議選	大沢ゆたか	現職	当選
応援	鳥取県米子市議選	土光ひとし	新人	当選
推薦	兵庫県加古川市議選	松崎 雅彦	現職	当選
推薦	東京都杉並区議補選	川野たかあき	新人	落選
9月				
9/06 公認	兵庫県高砂市議選	井奥まさき	元職	
9/21 推薦	新潟県胎内市議選	佐藤ひろし	新人	



### 選挙スクール 各地で 開催中

5/16、17 ..... 新潟  
6/14、15 ..... 北海道  
6/22 7/6、20、21 8/3、17 ... 京都  
6/29 7/13、27 ..... 東京  
8/23、24 ..... 仙台

詳細は緑の党webサイトをご覧ください。  
開催・受講希望の方はgreens@greens.gr.jp  
または担当：宮部(090-1548-5929)まで。



京都で開催された「緑の党 政治・選挙スクールin関西」6/22

### MOVIE 自主映画製作中!

#### 空中散布をやめた町に コウノトリが戻ってきた



度々話題にあがるネオニコ(ネオニコチロイド系農薬)。全国的に猛威を振っている松枯れ対策に高濃度のネオニコ散布が増加。効果は?健康被害は?生態系への影響は?長野県上田市を舞台に、松枯れ空中散布のドキュメンタリー映画制作中。緑の党信州の学習会をきっかけに映画製作がはじまりました。賛同人大募集! 詳細はfacebook「やまばの松」で検索を。

八木 聡(DVD製作実行委員長・緑の党信州共同代表)

## 緑の党 <http://greens.gr.jp> グリーンズジャパン E-Mail greens@greens.gr.jp

〒166-0002  
東京都杉並区高円寺北2-3-4 高円寺ビル601  
TEL 03-5364-9010 FAX 03-3223-0080

### カンパにご協力を!

城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金  
口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行  
口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党  
他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金  
店名:〇一九(ゼロイチキュウ) 口座番号:262967

### 目からウロコ!

## 1人で48票投じられるハイデルベルク市議会選挙 ドイツ、ハイデルベルクでEU選/地方選をみて



私が生活するドイツBW州のハイデルベルクは人口15万人の小さな地方都市です。路面電車とバスが縦横に整備され、旧市街と新市街の間にその停留所が集まるピスマルク広場が位置しています。私はこの広場を歩いて毎日通勤しています。この広場には各党のポスターがあちこちに掲示されました。左翼党はストレートな「〇〇反対!」が多いのと対比的に、緑の党はGenug! (充分!)など、ちょっとオシャレにもじった表現でした。

5月に入ると候補者の写真入りポスターが貼られはじめ、週末土曜日は必ずどこかの政党がパラソルやテントを広場にだして、パンフレットやチラシを配っていました。投票日の1週間前には市報が全戸配布されました。パリアフリーの投票所情報や、投票用紙の書き

方も掲載されています。ハイデルベルク市議会議員選挙は完全比例制で定数48、有権者は48票与えられ、1人の候補者に3票まで入れられます。今回は4人の学生候補が当選しました。ハイデルベルクのような小都市ではみんなが知り合いです。各有権者が定数だけ入れられる制度はご近所や仕事仲間がいがみ合わなくてよい、地域社会に優しい選挙制度だと思います。

かたやEU選は1人1票、政党名で投票します。EU選ではドイツ緑は少し議席数を減らしましたが、EU全体で55議席獲得。緑の党、左翼党ともに銀行システムの改善を訴えました。ドイツでは現在、日本の借金は爆弾になりうるとの評価もあります。日本の緑のみなさんが原発、国家の借財などに反対や改善を訴えることは世界にとって必要なことなのです。

太田 美紀 Brecht (ハイデルベルク)

### 「土に触れ、農と循環型社会を考える」 プロジェクト始動



1995年に山形県・新庄の有機農家10数名とお米の産直・提携を目的とした「ネットワーク農縁」という

グループをはじめました。現在世話人・事務局をしています。スタンスは「遺伝子組み換えNO! 在来種を守ろう」です。1998年に遺伝子組換え大豆食品輸入に対抗して新庄大豆畑トラスト、2000年には遺伝子組換え稲をSTOPするために新庄水田トラストを立ち上げています。首都圏を中心に数百人の会員が参加しています。

最近、緑の党会費プロジェクト「土に触れ、農と循環型社会を考えるプロジェクト」を発足、緑の党会員・サポーターだけでなく、農と循環型社会に関心がある人達に参加を呼びかけています。全国の、有機農や自然農、半農半Xのライフスタイルに興味のあるメンバーで、顔の見える関係を作っていきませんか。

田中 正治

(ネットワーク農縁 東京事務局長 グリーンズ千葉会員)

### スローガンは 「緑の生活が運動だ」です。



32歳の頃、チェルノブイリの放射能が日本まで飛んできて脱原発運動を始めました。

その3年後に

「原発いらぬひとびと」で参院選をたたかいましたが、それから20数年ぶりに「緑の党」という政治の世界に戻って来た60歳の新人です。私は中津の作家、故松下竜一氏と一緒に再エネのNPOを立ち上げたり、農業、林業や薪の販売などをして生活しています。小坂農園では、びわ関連商品や甘夏などの無農薬の農産物を通販で販売しています。3.11以後、関東から避難して来た方や農業仲間などが支え合って緑の暮らしを実現させたいと「緑の党おおい」を作りました。私たちのスローガンは「緑の生活が運動だ」です。

「緑の党おおい」は来年の統一地方選の候補者を募集しています。また、私たちと一緒に「緑の政治」を進めるための会員やサポーターも募集しています。また県本部へ移行するための準備も進めています。

小坂 正則 (緑の党おおい)

### 1枚につき500円が運営資金に!

#### ユース組織デザインのTシャツが完成



連携組織「greenish WORKS」(グリーニッシュワークス)がデザインしたTシャツの仕入れ予約受付を開始。オーガニックコットン100%!「政党っぽい」デザインではなく、メンバーの若い感性で作りました。卸値は3000円。地域組織や都道府県本部は仕入れたTシャツを3500円(希望小売価格)で販売することで、1枚につき500円が運営資金に。

●詳細は当HP <http://www.greenish-works.org/> または非公式MLなどでご覧下さい。

※写真はイメージ図です。実際のデザインは多少変更になるかもしれません

### 待ったなし! 食、環境、地域社会…。 将来世代のために頑張ります。



はじめまして、佐藤陽志です。私は初めて父親になった頃から、『子どもたちのためになりたい』

と強く思うようになりました。そして、静岡県環境NGOでノウハウを学び、Uターンして【たいない自然学校】を立ち上げました。ここでは、農業体験やキャンプなど、自然体験型の環境教育を行っています。

しかし、草の根活動だけでは突破できない課題があることを感じるとともに、政治の場での決断や政策実現の必要性を感じるようになりました。子どもたちに引き継ぐ自然環境を守るとともに、地域社会を改善していかなければいけないの思いがあります。そのため、政治や議会の場でも将来の世代のために頑張りたいと考えています。

佐藤ひろし

(新潟県 たいない自然学校 代表理事)

### CONTENTS

- P1 放射線被曝低減策アンケート調査報告
- P2 リニア新幹線問題、大飯原発訴訟
- P3 インタビュー すくる奈緒/清野和彦 ほか
- P4 会員からの報告 ほか



地方選挙で緑の党推薦候補者が続々と当選！ 左：秩父市議選、新人の清野和彦氏が当選。中：立川市議の大沢ゆたか氏は6期めの当選。右：杉並区議補選で善戦した川野たかあき氏。

# 自治体が電力会社の肩代わりをするには あまりに酷な現状が明らかに

## ～放射線被曝低減策アンケート調査結果報告要旨～

結果 福島県内全59市町村、回答59自治体、回収率100%

1	放射線空間線量計測	50自治体が独自調査実施、しかし計測数が充分とはいえない
2	線量計無料貸し出し	52自治体が実施。ただし空間線量計貸出は15自治体にとどまる
3	食材の持ち込み検査	全59自治体が実施。今後数十年にわたる長期の取り組みが求められる
4	児童・生徒へのマスク着用呼びかけ	57自治体が実施せず。内部被ばくを避ける一層の努力が求められる
5	遠隔地への子どもの避難・保養目的の旅費等の独自補助	実施は3市のみ(ただし詳細は報告書参照)。文部科学省の補助事業の要件は柔軟性に欠けており、より柔軟な制度運用が必要。また、ニーズに応じた自治体独自の取り組みも検討する必要がある
6	ホットスポットへの注意喚起	57自治体が実施せず。市民への情報の周知や対策が求められる
7	学校給食の独自調査	53自治体が実施
8	原子力防災計画	25自治体が計画なし。早期の策定が求められる
9	安定ヨウ素剤の備蓄	41自治体が備蓄せず。全自治体の早期備蓄が必須
10	自治体の独自取り組み	郡山市は子どもの積算線量チェックを行っている



福島で記者発表

福島県政記者クラブにてアンケート調査の報告会を行った。左から：蛇石郁子(郡山市議)、滝田はるな(郡山市議)、中山均(緑の党共同代表・新潟市議)、丸尾牧(プロジェクトリーダー・兵庫県議) (7月4日)

### 福島県の全自治体が 調査に協力

緑の党は福島原発事故から3年を期に、福島県内の全59自治体に対して被曝低減策アンケート調査を行いました。その結果、放射線の空間線量計測、線量計の無料貸し出し、食材の持ち込み検査、学校給食の検査などについては多くの自治体で取り組まれていることが分かりました。しかし児童・生徒へのマスク着用、遠隔地への子どもの保養への独自の補助、放射線量が高い地域を示す標識などについては、多くの自治体で取り組みが行われていないという現状が明らかになりました。また、原子力防災計画の策定や安定ヨウ素剤の備蓄などは、おおよそ全体の3割の自治体でしか取り組みが進んでいないといことも分かりました。

### 自治体だけの取り組みでは 限界がある

これらの調査結果からは、東日本大震災と原発事故で被害を受けた当事者でもある福島県内の自治体が独自に被曝低減策に取り組むには、予算の面からも、人的資源(専門知識を持つ人材など)の面からも多くの制約があるという現実が見えてきました。特に、多くの予算と専門知識が要求される原子力防災については、対策を整えている自治体の方が少ないのが現状です。原子力防災計画の策定は17自治体に留まり、安定ヨウ素剤の備蓄も18自治体でしか実現できていません。これは自治体にとっては非常に大きな負担なのです。そのため、アメリカでは小さな規模の自治体が多額の財政的負担を被らなくともよいように、原発を保有する事業者(電力会社)が原子力防災計画を策定するよう義務付けられています。

### 国と電力会社がすべきこと

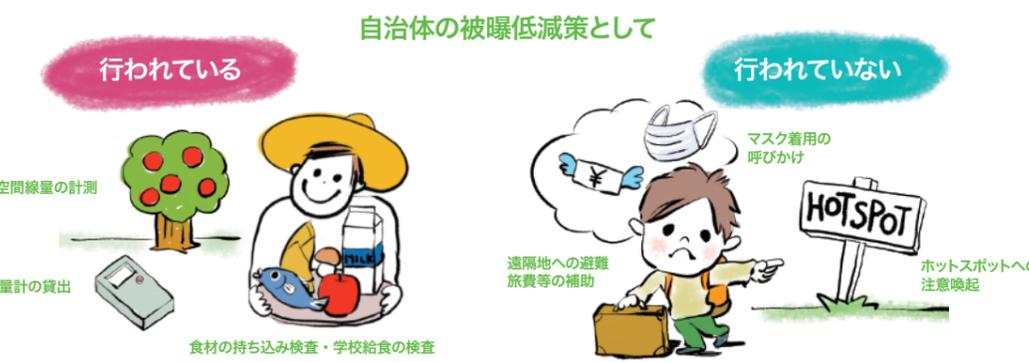
これから原発を再稼働させようとする電力会社は言うまでもなく、事故の後始末をしている東京電力についても、事故収束作業・廃炉等の過程で事故を起こす可能性があります。早急に実効性のある原子力防災計画が求められますが、その負担を各自治体に負わせることも、「国の負担」と称して一般の納税者に負わせることも筋違いです。国は、原子力防災計画の策定やヨウ素剤の備蓄にかかる負担を、電力会社に義務付けるべきです。

### 自治体レベルでも、 まだまだできる取り組みがある

その一方で、マスクの着用呼びかけや、放射線量が高い地域を示す標識の設置など、自治体独自で取り組み可能な被曝低減策が、ほとんどの自治体で取り組まれていない事実も明らかになりました。福島県住民、特に子どもたちの被曝を少しでも抑えるために、これらの取り組みは重要です。今回の調査結果を公表すると同時に、マスク着用の呼びかけなどを進めている自治体の事例をホームページなどを通じて広く紹介し、他の自治体に取り組みを促すよう、市民と共に申し入れを行ってきたいと考えています。

### 緑の党は引き続き定期的な 調査を実施していきます

1986年のチェルノブイリ事故を経験したウクライナやベラルーシでは、30年近く経った現在でも、国や自治体によって被曝低減のための対策が行われています。福島原発事故でも同様に長期的な被曝低減対策が求められます。私たち緑の党は今後も定期的に調査を行い、対策の実態を明らかにするとともに、より効果的な対策が行われるよう、国や自治体に求めて行きます。



長谷川 羽衣子  
(緑の党グリーンズジャパン  
共同代表)

## 集団的自衛権行使容認の閣議決定に反対し、緑の党も行動しています。

緊急声明はこちら→ <http://greens.gr.jp/seimei/11572/>



● 全国から1万人(主催者発表)が駆けつけた官邸前。7/1 ● 公明党本部前で訴える杉原浩司(緑の党・脱原発担当)。6/28 ● 大分市、共産党・社民党と共に超党派での抗議行動。7/1 ● 終電近くまで続いた官邸前抗議行動。7/1



# 日本史上最大の環境破壊が間近に どうする？ リニア中央新幹線計画



JR東海が今秋着工を目指すリニア中央新幹線計画。大規模な自然破壊、膨大な電力消費、健康被害、安全性、採算性などについて、環境省、沿線各県知事・市民団体、更にはJR東海労組等からも多くの懸念が寄せられています。JR東海はそれらの多くを「事後調査」扱いにして早期の着工を目指しています。緑の思想に真っ向から対立するかのようこの計画に対し、緑の党では会員発プロジェクト「STOPリニア」がスタートしています。また、超党派の「リニアを考える自治体議員懇談会」も発足。7月17日に参議院議員会館で院内集会、7月21日、22日に静岡で全国集会が開催されるほか、法的措置や韓国COP12での国際的アピールなども検討されるなど、反対運動は日に日に緊迫感を増しています。更に世論を大きくしていくためにこの動きに参加してください。そして各方面への働きかけを！

## リニア中央新幹線とは？

リニア中央新幹線は、東京～名古屋間を時速約500kmで走行するリニアモーターカーにより約40分で結ぶ新たな新幹線です。建設・営業主体はJR東海。2014年度中の着工、2027年の開業を目指しています。

## 指摘されている問題点

### ● 沿線全県で 貴重な自然が失われる

世界遺産登録を目指している南アルプスのほか、神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県のそれぞれで国定公園や県立自然公園など数々の自然保護地域をトンネルが貫通します。リニアはその機能上ほぼ直線のルートをとるため、回避措置を講じることができず、多くの絶滅危惧種、貴重種の生息環境の消失が懸念されています。

### ● 沿線各地で水枯れの恐れ

東京～名古屋の走行区間の約8割がトンネルのリニア新幹線は、工事による水脈の断絶が強く懸念されています。実際、リニア実験線のトンネル工事の後、山梨県大月市朝日小沢地区、笛吹市御坂町、上野原市無生野地区などで水源が枯渇し川が消滅。今後工事が進めば大井川の流量は毎秒2トン減少すると予測されています。

### ● 環境汚染

山間部ではトンネル掘削工事の膨大な残土処分のため、谷を埋めたり山を切り広げたりせざるを得ません。固有の生態系の破壊、地下水や河川の水質悪化、山体崩壊の問題が未解決都市部では多い数の残土搬出用ダンプの往来による大気汚染と、沿道の小児喘息の増加も懸念されています。

### ● 過大な電力消費

在来新幹線の4～5倍の電力を消費。浜岡原発再稼働を想定しているのではとの疑いの声もあがっています。

### ● 健康被害の可能性

電磁波による小児白血病など、深刻な健康被害の恐れがあると言われています。JR東海が依拠する国際電離放射線防護委員会（ICNIRP）のガイドラインでは、急性影響しか考慮されておらず、慢性影響は検討されていません。

### ● 交通機関としての安全性

走行ルートが東海地震への地震対策防災強化地域内を通過。糸魚川～静岡構造線という本州を南北に貫く活断層群を横切っています。事故時の脱出口が標高1400mの無人地帯（最寄りの集落まで40km）に位置しているケースも存在するなど、避難計画は不十分です。



その他、採算性の面からも大きな問題のあるリニア計画、詳しくは、リニア・市民ネットのwebサイト <http://www.gsn.jp/linear/> 橋山禮治郎『リニア新幹線 巨大プロジェクトの「真実」』（集英社）などを参照ください。

## 3.11を経て 誰もが認める事実に基づいた歴史的な判決

### 大飯原発差し止め訴訟

## 1 「司法は生きていた」

福井地方裁判所は、去る5月21日、大飯原発3号機4号機の運転差し止めを認める歴史的判決を言い渡しました。原告団や弁護団が掲げた、「司法は生きていた」という垂れ幕に、深い共感を寄せた市民は多かつたことでしょう。

## 2 歴史的な名判決

この判決は、仮処分決定を別とする、福島第一原発事故後初めての、原発裁判における司法判断です。判決要旨、判決全文とも、原告団のホームページにアップされていますので、ぜひ一読ください。

特に、判決要旨の最初のページでは、人格権が憲法上最も高い価値を有すること、最後のページでは、原発事故こそ本当の意味で国の富を失わせることや、ましてやCO<sub>2</sub>削減を口実に原発を推進することが言語道断であることが、美しい日本語で書かれています。

これらの内容は訴状でも書きましたが、その後判決までに原告の皆さんが口

## 3 しかし、「画期的」ではなかつた

一方、この判決は、「歴史的」ではあつても、決して「画期的」ではありません。1992年に既に最高裁は、「原子炉施設の安全性が確保されない時は、当該原子炉施設の従業員やその周辺住民等の生命、身体に重大な危害を及ぼし、周辺の環境を放射能によって汚染すること、深刻な災害を引き起こす恐れがあることに鑑み、右災害が万一にも起こらないように」（傍線筆者）と判示していません（以下「伊方最高裁判決」）。福井地裁は、この伊方最高裁判決の趣旨を、民事訴訟に妥当する限りで（伊方最高裁判決は行政訴訟に対する判断）踏まえ、かつ、科学の本質を踏まえて判断したのです。

この判決は、従来の原発裁判で見られたように、行政庁や原子力推進勢力が依拠する一方の科学的見解のみが正しく、他は採用するに足りないと断じる愚を犯しませんでした。

判決は科学論争の審判を気取ることなく、①十年足らずの間に何度も、基準地震動を超える地震が原発を襲った、②外部電源など冷却にとつて極めて重要な設備が、その基準地震動以下で破損しうる、③使用済み核燃料が、堅固な設備で覆われていない等の、誰もが認める事実を踏まえ、悲惨な事故が万一にも起こらないよう、健全な判断を下したのです。

## 4 今後の展望

この判決は、とりわけ3・11以降において脱原発を求める国内外の多くの人々の動きが示す、大きな歴史の流れが生み出したものです。今日、様々な政党支持の市民が、脱原発など社会を緑にする動きに参加しつつあり、例えば京都地裁などでも大飯原発差し止めを求める訴訟が行われています（ちなみに京

都の原告団でも、緑の党のメンバーが活躍しています）。緑の党の一員でもある私が、控訴審への対応をはじめ、これらの動きの連携にどのように貢献しているか、引き続き皆さんのお知恵をお借りして取り組んでいきたいと思っております。

笠原一浩

（大飯原発差し止め訴訟弁護団事務局長 緑の党運営委員）



# 僕たちはコピー用紙の一枚一枚を重ねている

この4月、秩父市議選に初挑戦で堂々の3位当選を果たした清野さん。2期6年務めた杉並区議という立場を離れて、この8月からドイツに行くという清野さん。二人は10年以上前、同じ団体で平和運動に関わっていました。学生時代から今に至るまで、常に切実な問題意識を持って走り続けてこられたお二人に、当時の様子やこの10年、そして未来に向けた思いについて伺いました。



## 清野 和彦

埼玉県秩父市議



## すぐろ 奈緒

緑の党前共同代表 前杉並区議

すぐろ 出会った頃のこと覚えてる？

清野 うん。僕が大学一年生だったんだよね。大学の中で知り合った人たちが、アジアンスパークという団体のメンバーで、そこにやんこもいて。

すぐろ アジアンスパークって、もともとはアフガンプロジェクトから始まったんだよね。9・11のテロ事件の後、アフガニスタンが攻撃されたときに、自分たちでできる支援を始めて。メンバーがサッカー好きだったから、子どもたちにサッカーボールを届けて一緒に遊ぼう！ワールドカップを届けよう！って。

清野 そうそう。その後2003年のイラク攻撃反対のアクションのときに踊りをつくる話があって、パレードで盛り上げようってことになって。デモじゃなくてパレードにしようってのは、今では一般的になりつつあるけど。

すぐろ 当時は全然そんなことなくて。清野 若者が政治的に行動することの垣根を下げていくことをやっていたんだよね。僕すっごい覚えてる。「僕たちはコピー用紙の一枚一枚を重ねている」って話

すぐろ 私もすっごく覚えてる。長い歴史上で、自分たちが生きている間にできることはとっても小さいかもしれない。階段一段を上げることもすらできないかもしれない。でも、コピー用紙一枚分でも重ねていくことができれば、いつか先の世代で社会が変わっていく。私たちがただその役割を全うすること、それが大事だよって話してたよね。その一つとして、若い人が政治的な行動に参加しやすい雰囲気をつくっていったんだよね。



選挙活動中の清野。地域の未来を地域の人とつくる。

とここで、キヨは当時、早稲田大学の政治経済学部だったけど、もともと政治的な問題に関心があったの？

清野 僕は高校の時にストリートミュージシャンやっていたんだよね。そのときにいろいろな人に出会ったこともあって。だけど一番大きかったのは9・11。あのときに高校3年だったのかな。だけど、すーごいショックを受けて。しかも、

その日の夜のことを覚えているんだけど、世界が、地球が動く音がしたんだよね。これから先、地球は前の世界に戻れないんじゃないかっていうくらいショックを受けて。そのときから、なんでこういう暴力が起こるんだろうって考えるようになったのは確か。にやんこは最初こういう活動に参加するきっかけはなんだったの？

すぐろ 私は母の影響が大きいかな。5歳くらいのときに、横須賀にトモホークっていうミサイルを配備させないための集会に泊まりがけで行ったのを覚えている。チラシ配りしたり横断幕つくったりしたなあ。そのころから戦争に関する本や映画にふれる機会が多くて。そのたびに母親と話したり考えたりしていたか



（上）有事法制に反対して街頭にてパフォーマンスするすぐろ。（下）ピースパレードにて。

ら、自然と深いところにしみ込んで、絶対戦争させない社会になくちややって固く誓うようになったんだよね。

イラク攻撃反対の行動のときは、アポも取らずに各国大使館に説得に回ったり、国会議員にロビイングしたり、劣化ウラン弾反対の集会とか企画したり、色々やったよね。そして各国のメディアに取りあげられたりしたね。

清野 みんなが本気で動けば絶対に戦争を止められると思っていたし、自分たちが自身がワクワクできることをやっていたから、みんな目がキラキラしてた。

清野 僕はあとから関わったんだけど、ショックだった。まず若い人たちがやっているというところ。そして先輩たちもこんなに長い歴史の中で、戦争について、核について考える人がいるんだって。なんだんかかってきて。

すぐろ その頃キヨは金髪でノリノリな兄ちゃんって感じだったもんね（笑）。清野 そう。で、その前はピンクのモヒカンだった（笑）。大学の時はそれもいと思ってたんだけど、だんだん違うなって。外見じゃない。中身だよって思ってた。なんで俺はきつい服を着てるんだって。

すぐろ パツパツのね（笑）。それで、話は戻るんだけど、イラク攻撃反対運動の後には森林保護活動に入るよね。何がきっかけだったの？

清野 てんつくマンの映画の中で、アフガニスタンからの空の映像が流れるのね。砂漠なの。その時、これは「あ、森がないと人は幸せになれない」って直感的に思ったんだよね。で、「あ、このまま大学にいるより、木を植えるに行こう」って。

清野 それで、ケニアに行ってみたら、本当に日本と状況は違うんだけど、やっぱり政策が大事だなと思ったのね。もちろん僕が日本人として行って、木を植えることは大事なことだけど、それだけじゃなく、どうしたら森を守れるかとか、人の心が自然を守る方向にいくかとか、そういうことを考えるのが大事なんだなって。で、日本に帰ってこれをテーマに研究した。

清野 その頃の研究とか、卒業後に自然保護の財団法人で働いたことが、キヨのベースになるんだよね。これから秩父の街づくりに生かされていくと思うと楽しみだなあ。

清野 にやんこは区議時代どうだった？印象に残っていることある？

すぐろ そうねえ。区民と行政の間で対立が起こっているときに、調整役をしたことは印象に残っているかな。たとえば、高齢者団体と役所の担当課との間でこじれてどうしようもなくなるとか、先生から注意を受けた生徒がPTSDになって家族と教育委員会の間で泥沼化しているとか、マンション紛争とか。日常の色々なトラブルの相談を受けて解決していく中で、私も成長できたんだよね。

清野 自分が提案した政策が実現したり、指摘した問題が改善されたりっていうこともやりがいは感じるんだけど、怒りや悲しみでいっぱいになっていた当事者が、お互いに納得できる形で問題解決できると「ああよかった」って思った。

清野 キヨは選挙を終えて今どんなことを感じてる？

清野 こんだけ若い人に期待してらるって声が自分の地元にもあるんだって。ことに驚いた。高齢の方もそうだった。地域の未来を憂えているとか、心配しているとか、そういう人がすっごく多いんだなって。

清野 人口減少などはこれからますます深刻になってくるけど、そのときに「こんな街にしたい」というビジョンがしっかりとあれば、それはそんなに恐れることじゃないんじゃないかって僕は思っている。だからよりたくさんの方の声を聞いて、一緒にこの街をどうしたいかを考えていきたいなって思う。みなさんのおかげで政治家っていうことを始めることになったので、試し続けたい。動き続けたい。

清野 そうだね。この10年を振り返ってみると、格差が拡大して、原発事故があつて、戦争への準備が加速して……自分の力が微力だなんて痛感させられる時もあるけど、でも無力ではないからね。やっぱりね、コピー用紙を重ねるように、一つ一つ自分のことをやっていくってことだよ。立場交代で（笑）。

清野 うん。色々な課題はあるけど、大地といのが一番大事にされる社会を目指して、お互いに進んで行こう！

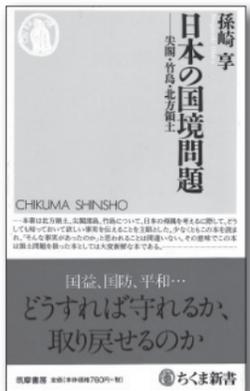
※1 すぐろのニックネーム。  
※2 映画「1071111」天国はつくるもの。映画の完成直後にアジアンスパークが主催で上映会を実施した。

●インタビュー全編は緑の党のwebサイトに掲載予定です。

### BOOK REVIEW 集団的自衛権と尖閣問題がよく分かる本 平和外交を考えるための2冊



孫崎 享『日本の国境問題』 (2011年、ちくま新書)



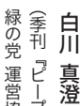
豊下橋彦『集団的自衛権とは何か』 (2007年、岩波新書)

安倍首相が集団的自衛権の行使容認を閣議決定する暴挙に出ました。日本への侵略のみならず「他国に対する武力攻撃が発生した場合」でも「我が国の存立が脅かされ、国民の権利が根底から脅かされる明白な危険」があれば海外で武力行使できることを、憲法第9条は認めているという無茶苦茶な解釈をするのです。

豊下さんの本は、安倍首相がこうした憲法解釈をいつごろから、なぜ、どういう理屈で企ててきたのかを丁寧に説明しています。とくに、集団的自衛権の行使は、日米安保のあり方（米国が日本を防衛する代わりに日本は米軍基地を提供する）を、自衛隊が海外で米軍とともに戦争できる仕組みに変える狙いがあることがよく分かります。憲法と日米安保と集団的自衛権の関係を知るには、たいへん便利です。

集団的自衛権の行使が必要となる理由として、「日本を取り巻く安全保障環境の大きな変化」が言われます。北朝鮮の核ミサイル開発と中国の海洋進出の脅威、とくに尖閣諸島が奪われる危険性。

孫崎さんの本は、尖閣諸島の領有権をめぐる日中間の交渉や争いの歴史を辿っています。そして、領有権紛争を平和的に解決する方法として、旧領土の奪還ではなく共同開発を選んだ戦後ドイツの知恵、また「尖閣諸島をめぐる領有権問題の棚上げ」（日本の管轄の容認という日中首脳間の過去の合意などが紹介されています。ここには、日中間の改善のための、領土問題や国際紛争の平和的解決を考えるヒントがあります。



白川 真澄 (季刊「ブルースラン」編集長 緑の党運営協力スタッフ)